



発行 高島市今津地域住民自治協議会
事務局 今津町中沼一丁目4番地 1
今津東コミュニティセンター
(今津公民館)

TEL 090-4927-3222

メール info@imazu-jichikyo.org

ホームページ <https://www.imazu-jichikyo.org/>



キャッチ! ロー!! 第20回今津レガッタ



2006年(平成18年)、第1回が開かれてから20回目の9月7日、今津町市ヶ崎沖の400㍍特設コースで「今津レガッタ」が開かれました。今津中学校や瀬田中学校、高島高校などが参加し、13レースで熱戦が繰り広げられました。

今津のボートの歴史は、旧制今津中学校(現・高島高校)に端艇部が置かれ、1927年(昭和2年)には今津中学校主催の第1回端艇競漕大会が開かれました。その後、戦争のため大会は中止となりましたが、1995年(平成7年)復活させたいという願いから、今津中学校にボート部が創設。2003年(平成15年)には高島高校にも創設されました。

以来、全国大会などで活躍する多くの選手を輩出してきた大会となり、主催するNPO法人、高島・いまづロウイングクラブの山室拓矢理事長は、ボートを愛する人々のつどう場として、また高めあう場として、今津の歴史あるボート文化が、これからも続いていくようにと願っています。

琵琶湖周航の歌の会も、関わりのあるこの大会を支援しています。



フィックス艇での貴重な体験をする選手たち

大会はシングルスカルやダブルスカルなどの種目とともに、フィックス艇の競漕も行われました。このボートは、琵琶湖周航の歌との関わりが深く、作詞者の小口太郎たちが琵琶湖周航に使ったのが、座席が固定されたフィックス艇と呼ばれるボートでした。

小口太郎は、旧制第三高等学校(現・京都大学)水上部(ボート部)に所属。7~8人が乗船(漕手6人)し、明治26年から2~4泊程度で琵琶湖一周する行事が恒例になっていました。

フィックス艇は、1968年(昭和43年)の第23回国体まで正式ボート種目で使用されましたが、昭和末くらいで姿を消しました。1993年に愛好者の尽力で2艇が復元され、1998年に旧今津町に寄贈されました。

フィックス艇での競漕は、なかなか体験できるものではなく、貴重な機会となっています。次世代にもつないでいきたい今津の文化のひとつです。





ひつじ草の名の由来は、ひつじの刻（午後2時）頃に花が咲くことから名がついたともいわれ、6月～9月長い花柄の先についた1個の花が水面上で咲くスイレン科の水生植物です。昔はあちこちの池沼で見られたそうですが、環境の変化か、ほとんど姿が見られなくなりました。

そんなひつじ草ですが、JR 近江今津駅東口広場や旧琵琶湖周航の歌資料館前に咲いているのをご存じでしょうか？

ひつじ草は琵琶湖周航の歌と深いつながりがあります。

大正6年6月(1917年)、旧制第三高校のボート部であった作詞者の小口太郎が、仲間と琵琶湖周航の途中に「ボートを漕ぎながらこんな詩を作った」と今津の旅館で披露。当時流行っていた「ひつじぐさ」のメロディにのせ、替え歌として歌ったのが琵琶湖周航の歌となりました。原曲となった「ひつじぐさ」は、長らく誰が作曲したのか謎でしたが、研究者の努力と劇的な出会いにより、新潟県出身の吉田千秋だと判りました。

そんな秘話がある琵琶湖周航の歌。原曲の題名となったひつじ草は、きれいな水環境で生育するといわれ、環境を守るいまづの会では、環境を守るシン



ボルとして増殖に取り組んでいました。

会では、今津の自然を愛し楽しみながら、いまづ自然観察クラブや街中美化運動「はなのみち」グループとも連携して、ひつじ草はもとより、ヒガンバナや琵琶湖岸の清掃、ハマヒルガオの保全などに取り組んでいます。

現在、会員は17名。会長の深田源蔵さんは「今津には誇れる豊かな自然環境が残されている。ちいさなことでも、できることは楽しくやりながら次の世代に伝えていきたい」と話し、ひつじ草の手入れに汗をながしておられました。

会では「一緒に楽しく」と、仲間を募集中です。今津の植物や自然など興味のある方は今津東コミュニティセンター(今津公民館)内の今津地域住民自治協議会(090-4927-3222)までご連絡ください。(K)

わ～懐かしい！ 江若鉄道展

江若鉄道を語り継ぐ会

7月22日～8月1日に今津東コミュニティセンターで開かれた「江若鉄道展」。多くの来場者が福田静二氏の懐かしい写真と今回初めて展示された高島町駅と白髭駅のジオラマ(広島県・西村雅幸氏制作)などを見ながら、「懐かしい、昔のまま。この駅からよく乗ったな」と昔話をされていた。東京から昨年に続き写真展を見に訪れたという人も。

会には、活動とともに輪も広がり、堅田駅常備の「タブレット」や貴重な資料も多く提供していただいたと澤田市治代表。今回展示をした精巧なジオラマも、西村さんから寄贈いただくなど、活動の広がりが感じられた展覧会でした。



寄贈された高島町駅・白髭駅のジオラマ

7月26日、今津東コミュニティセンターで2025年度の総会が開かれました。

計画では、第2回の江若鉄道ウォークや大変好評だった江若鉄道展の開催、広報誌の発行など、全ての議案が承認されました。

知ってる？ 街ネタ ヴォーリズ JAZZ NIGHT 2025

9月6日、ヴォーリズ通りで「ヴォーリズジャズナイト2025」が開かれました。ヴォーリズ建築が並ぶ通りに、市民でつくるジャズオーケストラやプロの演奏家



によるジャズライブ、10代からプロまで

のストリート演奏など、通りには音楽がながれ、夏の夜のひとときを楽しむ人で賑わっていました。

訪れた人はヴォーリズ資料館や旧今津郵便局での特別企画や通りにはキッチンカー、高島青年農業者クラブなどが出展し、そぞろ歩きを満喫したようでした。



子どもは地域のまんなか！



夏休みの子どもの居場所づくりの一環で、8月22日、今津東小学校で「はなまる広場+（プラス）」と子ども食堂が一緒になって開かれ、自治協も二つの部会で支援しました。



教育福祉部会から、Base 子ども活動事業と子ども食堂支援事業、防災地域連携部会は、ごみ出し啓発推進事業で応援しました。

勉強が終わり、運動あそびや手芸、ごみ分別ゲーム、ジャンボシャボン玉など、思い思いのコーナーで遊びました。終わって昼食は、子ども食堂のカレーライス。待ってましたと長い列ができ、「おいしい！」と皆んな一緒に食べながら、笑顔いっぱいでした。

教育福祉部会では、子どもの健やかな成長を願い、上記の事業の他、下校時の見守り活動支援に取り組んでいます。全ては、子どもたちの笑顔のために活動しています。

体育館では、出前 FLAT として県内で活躍する体育会系保育士の服部哲也さんによる「運動あそび」で汗を流しました。できても、できなくても楽しく運動ができ、笑顔いっぱい体育館中走り回っていました。



いっしょに街づくりしませんか！！ 月・水・金・土は東コミセンに！ お気軽にどうぞ

今津地域まちづくり計画 2024-2028 の実施計画のひとつに、当自治協の仲間の輪を広げること掲げました。多くのいろいろな人の考えや行動を

もって、基本構想の実現をめざすことにしています。ぜひ、ご一緒に！！

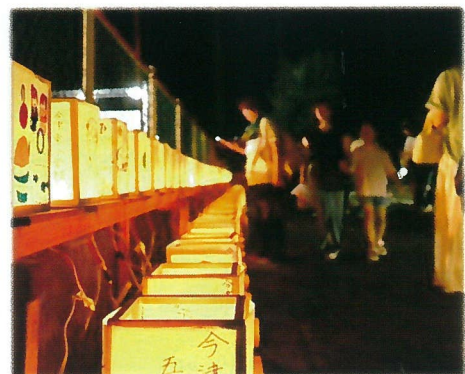




“やっさ今津!!”

ひと夜の夏まつり 今年も大盛あがり!

8月1日、昨年以上に多くの人々が恒例の“夏祭り”を楽しんでおられました。



伝言板

間近に見る花火は大迫力!!

10/12
(日)

オーリーブフェスタ'25

10:00~15:00 会場*南深清水オーリーブほ場 主催・南深清水 FF 倶楽部
・オーリーブ収穫体験など



10/26
(日)

今津壺番市

10:00~15:00 会場*琵琶湖周航通り
~中浜・浜通り 【自治協事業】

会場を浜通りまでひろげ、いろいろなお店が大集合します。地元の特産品からキッチンカー、イベントブースなど、この日はふれあい通りに変身します。ぶらりと街散歩しながら、お越しください。

10/15
(水)

小中学校連携 特定外来生物ナガエツルノゲイトウ環境学習 【自治協事業】

13:30~14:30 会場*今津周遊基地

11/19
(水)

フォークトークダンス in 今中

13:20~15:00 会場*今津中学校体育館
主催・今津中学校、PTA
今津中学3年生とおしゃべりしませんか。

11/23
(日)

おっきん棕川

10:00~15:00 頃 会場*今津町棕川 ゆっくり散策して、里山を満喫しませんか。

11/29
(土)

イルミネーション点灯 JR 近江今津駅西口広場

18:00 点灯式 主催*街にあかりをプロジェクト実行委員会

編集後記



収穫の秋、芸術の秋など、いろいろな楽しみがある季節ですね。市内でもいろいろな催しが開かれます。新しいことや今まで知らなかった「ふるさと再発見!」になるようなことも。機会があれば、あちこち出かけてみませんか?